

あか

垢って何？



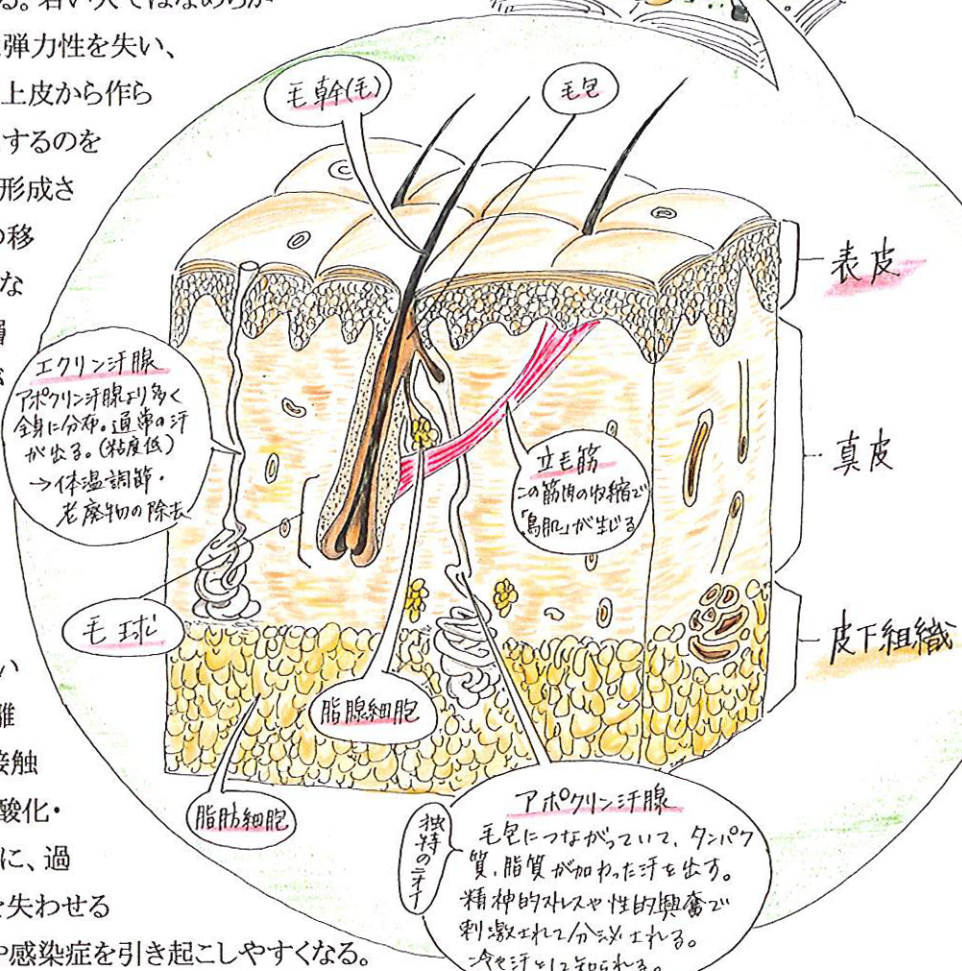
●皮膚の構造●

皮膚は次の3層から構成されている。皮膚の深層は皮下組織で、主に脂肪細胞からなり、断熱材として重要な働きをし、体熱の放散を防いでいる。中層の真皮は、結合組織で作られる。大変強靱で、弾力性があり、機械的な力にたいして抵抗力が強い。真皮は神経と血管に富んでいる。若い人ではなめらかなしまった外見をしめす。歳をとると、皮膚は弾力性を失い、しわがよる。外層は表皮で数層のウロコ状の上皮から作られている。微生物や化学薬品が体内に侵入するのを防ぐ。表皮細胞は真皮の上に接する部分で形成され、しだいに上方へ移動する。この上方への移動のあいだに細胞は死に、緻密な物質塊になる。これをケラチン(角質)と呼ぶ。最表面のケラチン化した細胞は剥げ落ちる。細胞が作られてから剥げ落ちるまで約24日かかる。ケラチン化した表皮細胞が白いウロコ状に見えるとき、これを垢とかフケという。

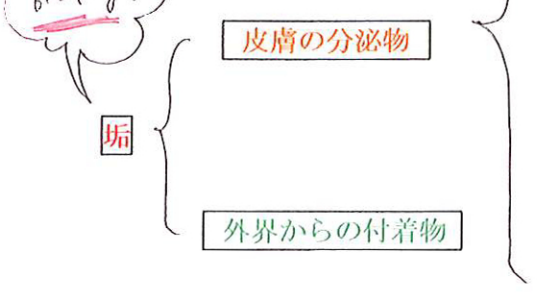
●汚染●

汚染・湿潤環境により、細胞が増殖しやすくなるが、このことについて体温が一役かっている。皮膚分泌物としての垢は、汗、皮脂、剥離した角質細胞などであるが、皮膚の二面が接触し湿潤している部位では、そのまま付着して酸化・分解され、細菌増殖の好条件となる。また逆に、過剰な洗浄により角質層を損傷し、常在菌叢を失わせる結果、皮脂膜を喪失させ、アレルギー反応や感染症を引き起こしやすくなる。

●垢の発生●



1日 6~12g!



汗	水分 (99%)	NaCl (40~50%) 無機質 有機質(尿素)
	固形物 (1%)	
皮脂	コレステロール	色んなものがまじって るんだね!
	揮発性脂肪酸	
	微量の酢酸・乳酸	
	グリル酸・カプリル酸	
上皮の角質化・落屑		

